

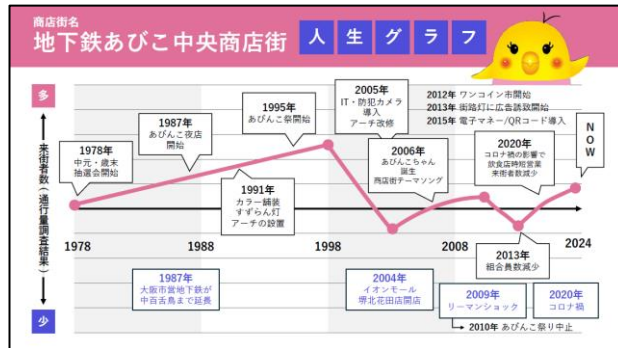
地下鉄あびこ中央商店街振興組合(大阪府大阪市住吉区)

商店街の概要

- 大阪メトロ御堂筋線あびこ駅直結という好立地にあり、通勤・通学で人通りも多く、多種多様なお店が並び活気がある地域密着の商店街。約70店舗が組合に加盟している。
- マンションの建設計画も複数あり、さらに人流が増える見込みだが、大型ショッピングセンターの建設予定もあり、今まで以上に地域の方を大切に、地域との繋がりを強化したい。

(1)商店街の歩み

- 各種イベントなどで集客も順調だったが、2004年の隣駅への大型ショッピングモールの進出で来街者数が減少。
- その後、マスコットキャラクターの活用や防犯カメラを導入し、地域コミュニティとの繋がりを強化。
- 電子マネーやQRコードの導入など、IT化も推進しており、LINEアカウントの登録者数も増加。



(2)商店街の強み・弱みの把握

- 駅近で人通りも多く、人気店がある。
- 店舗間のつながりが強く、郵便局長や婦人会など地域の様々な団体とも日常的に連携している。
- 高齢者への声掛けなど、世話好きな人情味のある店舗が多い。
- マンションの建設計画が多く、新規住民の増加が見込まれる。
- 近隣にショッピングセンターの建設予定がある。

【客観的データ】

地下鉄あびこ駅乗降客数：約3万3千人(2023年大阪メトロ調査)
来街者数(平日1日平均)：約1万1千人(2024年通行量調査)

ブランディングのための着眼点

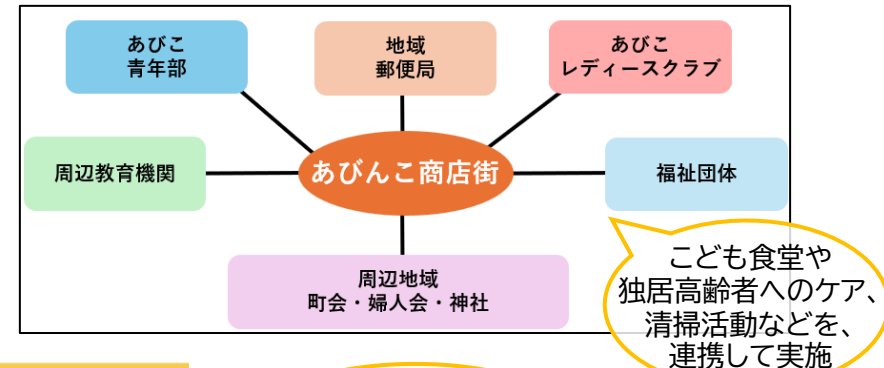
- 世話好きで「おせっかい」な店舗が、地域の方を大切にしてきた
- 様々な地域の団体とのつながりがある

5年後のめざす姿と具体的な取組

頼りにされる商店街

困りごとや悩みごとがあったとき
高齢者からも、新しい住民からも、頼りにさせる商店街

- 地域の生の情報、ニッチな情報を発信、積極的な「おせっかい!」
- いざという時に、地域の方に提供できるサービスを整理
- 商店街の枠を超えて、地域の様々な団体と連携し、地域住民にとって居心地のいいまちづくりを推進



公式LINEで情報
発信も強化中

おせっかいステッカーを
街路灯や店舗に掲示

